

みんなの広場

手打ちそばのおいしさを伝えたい

やしおそば打ち同好会 会長 薄井 正信

やしおそば打ち同好会は、今年の2月に8人で発足しました。

その前は、2年前から月に一回程度、そば打ちが好きな仲間が集まり、そばやうどんを打ち、よりおいしいそばの打ち方を楽しく研究していました。

そのうちに、このおいしさを大勢の方に味わっていただきたいと思うようになりました。

そこで、正式にボランティア団体として社会福祉協議会に登録をし市内施設などでそば打ちのイベントなどを行っています。

3月14日には、市内の

「高齢者福祉施設 やしお苑」でデイサービスを利用



特に、80人分のそばを用意するために、前日から全員で準備をしていたので、皆さんの笑顔が見られたときは、やりがいを感じました。

やしお苑の栄養士の方にも大変お世話になりました。メンバーからは、「80人分となると初めてのことで、どうなることかと心配しましたが、事前の打ち合わせもよく行い、当日のチームワークもよく、大成功だと思えます」などの声が聞かれました。

今後、機会があればそば打ちのボランティアを行い、皆さんを笑顔にしていきたいと考えています。

おりがみで恐竜をつくったよ



4月4日、八幡図書館で「春休みおりがみ教室」が開催され、子どもや保護者など、19人が参加しました。

子どもたちは、「このおりかたでいいのかな」「わからないよ」などと悩みながら真剣な表情を浮かべ1時間40分ほどかけて、ティラノサウルスとプテラノドンを作成させました。

教室が終わってから、他の恐竜のおりかたが載っている図書を借りていく子どももおり、「次のおりがみ教室はいつなの」などの声が聞かれました。

親子で楽しむ端午の節句



4月16日から、資料館で、季節展示「端午の節句」が行われています。

「端午の節句」は中国から伝わった五節句行事の一つで、もともとは男の子だけのものではなく、人々の無病息災を願ったものでした。

この展示では、こいのぼりや、歴史的に貴重な五月人形飾りを展示し、節句行事の由来などを紹介しています。

週末やゴールデンウィークは、多くの親子が訪れ、日本の伝統文化に触れ楽しんでいました。

こいのぼりがあがりました



4月17日、楽習館子育てひろばで「こどもの日製作」が行われ、11組23人の親子が参加しました。

参加した親子は「こいのぼりの色は何色にしようか」と相談しながら一緒に作品を作っていました。

こいのぼりとふきながしの裏についたストローにひもをとおし、ひもを右左順番に下に引っ張ると、こいのぼりが昇っていきます。その様子に子どもたちは驚き、繰り返し、こいのぼりを上げ下げさせて喜んでいました。

市長表敬訪問



3月27日、大原中学校生徒会役員が、昨年9月に、全国オリンピック記念青少年総合センターで開かれた「全国生徒会サミット」などに参加したことを、市長に報告しました。

全国生徒会サミットでは、全国から集まった43校の生徒会代表が、いじめ防止策を話し合い、「いじめ仲裁者育成プロジェクト」の提案や「いじめ撲滅宣言」を発表しました。また、大原中学校生徒会では、サミットに参加した経験を生かし、いじめ撲滅活動を広める取り組みが行われています。

いきいきやしお写真館